

Letters from Manitoba

2018.5.21

留学期間中の冬休みに1週間、カナダのアルバータ州にあるバンフという町と、ブリティッシュコロンビア州にあるバンクーバーへ旅行に行きました。



バンフ国立公園は、アルバータ州の有名な観光地で、1年中大自然が楽しめる場所です。中でもルイーーズ湖はとても有名で、山が湖の水面に映る景色がとても綺麗なのですが、私が行った時期は寒さで湖が凍り、スケート場となっていました。バンフでは、ゴンドラに乗っ



て山の頂上に行ったり、博物館を巡ったりしました。その時の気温は-28度ほどで、手袋を外すとすぐに手の感覚がなくなりました。そんな気温でも、屋外の温泉に入る人が多くて驚きました。



バンクーバーでは、年越しのカウントダウンと花火を見ました。カウントダウンの時は、会場に世界中の人が集まっており、とても賑やかで凄かったです。大音量の音楽の中、みんながジャンプしたり踊ったりしていたので、地面が揺れているように感じました。年越しの花火は、カナダプレイスというところで観ることができます。バンクーバーでは他にも、水族館やグランビルアイランドというショッピング街、チャイナタウンなどに行きました。カナダは都会でも自然があり、のどかでとても良い場所です。バンクーバーに行ったとき、気温は4度でしたが、同じ頃マニトバは-30度を超えていたそうで、バンクーバーからウィニペグに帰る時はとても辛かったです。

ウィニペグは都会ですが小さな町なので、冬休みにバンクーバーなどの大きな都市へ旅行をしたり、バンフのようにカナダの大自然を体験するのも良いと思います。旅行を通してとても良い経験ができました。



(情報メディア学科 2年次生 R.M.より)